

(19)日本国特許庁 (JP)

(12)公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号
特開2002-152561

(P 2 0 0 2 - 1 5 2 5 6 1 A)

(43)公開日 平成14年5月24日 (2002.5.24)

(51) Int. Cl. ⁷	識別記号	F I	マーク (参考)
H04N 5/225		H04N 5/225	C 2H087
G02B 17/08		G02B 17/08	Z 5C022
27/00		27/00	Z

審査請求 有 請求項の数 1 ページ (全3頁)

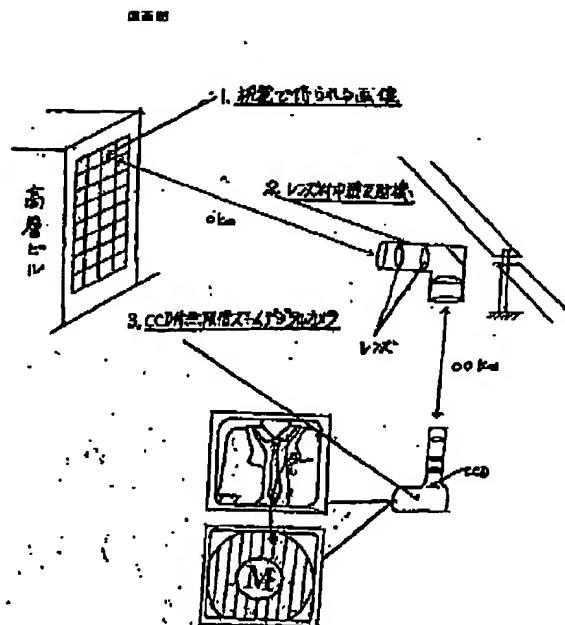
(21)出願番号	特願2000-386125 (P 2000-386125)	(71)出願人	592138237 廣瀬 久也 神奈川県藤沢市鎌沼海岸 1-9-27
(22)出願日	平成12年11月14日 (2000.11.14)	(72)発明者	廣瀬 久也 神奈川県藤沢市鎌沼海岸 1-9-27 F ターム (参考) 2H087 KA22 TA01 TA03 5C022 AA01 AA13 AB66 AC54 AC77

(54)【発明の名称】電波を使用しない通信システム

(57)【要約】 (修正有)

【課題】 従来、手旗信号、発煙筒、照明灯などで情報を発信し、視覚で解析したりする方法がある。さらに、中空電波による発信受信する通信システムがあり、近年多く用いられている。しかしながら、電波を用いた場合次のような欠点がある。電磁波が人体に対して公害化してきたり、通信衛星、有線通信回線敷設などのコストがかかるようになった。

【解決手段】 視覚で得られる画像1を遠距離から直接的、間接的にレンズ付中継反射機2を使って、CCD付無限倍ズームレンズデジタルカメラ3で捕らえることのできる先端光学情報処理通信システムである。



(2)

特開2002-152561

1

2

【特許請求の範囲】

【請求項1】 視覚で得られる画像、バーコード、暗号コード、DVDコード、デジタル画像直線光線成いは点滅光線などを地上、衛星反射装置又は月面反射装置の遠距離から直線上、間接上に中継反射機、レンズ付中継反射機などを設置し又は使って、CCD付数倍、数十倍、数百倍、数千倍、無限倍ズームカメラや望遠鏡、天体望遠鏡、顕微鏡、電子顕微鏡、望遠鏡成いは顕微鏡の複数レンズ間内に取り付けたCCD付ズーム機器内蔵などのデジタルカメラ又はデジタルビデオカメラで捕らえることの出来る先端光学情報処理通信システム及び機器類。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 この発明は、通信システムに関するものである。

【0002】

【従来の技術】 従来、手旗信号、発煙筒、照明灯などで情報を発信し、視覚で解析したり、中空電波による発信受信する通信システムである。

【0003】

【考案が解決しようとする課題】 これは次のような欠点があった。

(イ) 電磁波が人体に対して公害化してきた。

(ロ) 通信衛星、有線通信回線敷設などコストのかかるITシステム化が進行しつつある。

本発明は、これらの欠点を除くためになされたものであ

10

る。

【0004】

【課題を解決するための手段】 電磁波を使用しないで視覚情報画面を遠方から直接又は間接に光学望遠鏡などで捕らえることの出来るシステムと機器類である。

【0005】

【作用】 従来、電磁波通信システムだけである。本発明は、視覚情報画面を遠方から直接又は間接に光学望遠鏡などで捕らえることの出来るシステムと機器類である。

【0006】

【実施例】 以下、本発明の実施例について説明する。本発明は、視覚で得られる画像(1)を遠距離から直接的、間接的にレンズ付中継反射機(2)を使って、CCD付無限倍ズームデジタルカメラ(3)で捕らえることの出来る先端光学情報処理通信システム

【0007】

【考案の効果】 電磁波公害を減らすことが出来、電磁波では不都合な通信距離を限定したりするためにかかるコストを軽減することが出来、エネルギーの消費の節減できる。

20

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の実施例を示す側面図である。

【符号の説明】

1 視覚で得られる画像

2 レンズ付中継反射機

3 CCD付無限倍ズームデジタルカメラ

(3)

特開2002-152561

【図1】

説明

